



Contents

目次

はじめに

序章

行政書士試験の必勝学習法 8

第1編 憲法

- 1章 憲法の基本原理など 18
- 2章 天皇について 24
- 3章 人権の種類・性質 28
- 4章 包括的基本権
 (幸福追求権、法の下での平等) 34
- 5章 精神的自由権 40
- 6章 経済的自由権 46
- 7章 社会権 52
- 8章 権力分立と議院内閣制 58
- 9章 国会 64
- 10章 内閣 68
- 11章 裁判所 74

12章	違憲立法審査権	80
-----	---------	----

第2編 行政法

1章	行政法とはどんな法律か (行政法の全体像)	88
2章	行政の主体	94
3章	行政行為	100
4章	行政上の強制措置	106
5章	行政手続	112
6章	国家賠償	118
7章	行政事件訴訟法	124
8章	行政不服審査法	130

第3編 地方自治法

1章	地方自治制度の全体像	138
2章	地方公共団体の議会	144
3章	地方公共団体の執行機関	150
4章	条例・規則	156
5章	住民の権利	162

第4編 民法

1章	民法の全体像	170
----	--------	-----

2章	民法の基本原則とその修正	176
3章	取引の主体(制限行為能力等)	182
4章	意思表示	188
5章	代理	194
6章	時効	200
7章	物権総論 (物権と債権の違い、物権の種類等)	206
8章	所有権(共有も含む)	212
9章	二重譲渡と登記	218
10章	抵当権	224
11章	債務不履行	232
12章	契約の解除	238
13章	保証	244
14章	契約総論	250
15章	売買契約(手付、売主の担保責任等)	256
16章	賃貸借契約	262
17章	不法行為	268
18章	親族法総論	274
19章	婚姻・離婚	280
20章	親子・養子	286
21章	相続	292
22章	遺言	298

第5編 商法・会社法

1章	商法の特徴	306
2章	商法総則・商行為	310
3章	会社法の全体像	316
4章	株式会社の設立	322
5章	株式	328
6章	株式会社の機関その1	334
7章	株式会社の機関その2	340

第6編 基礎法学

1章	法とは何か	348
2章	法の効力	354
3章	法の解釈	360

第7編 一般知識

1章	情報通信	368
2章	個人情報保護	374
3章	政治制度(選挙制度を含む)	380

行政書士試験案内	387
----------	-----

第 1 編

憲 法

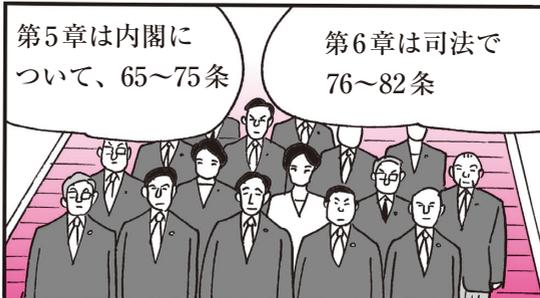
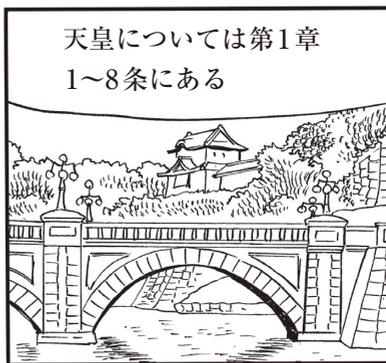


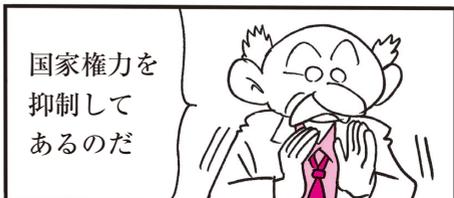
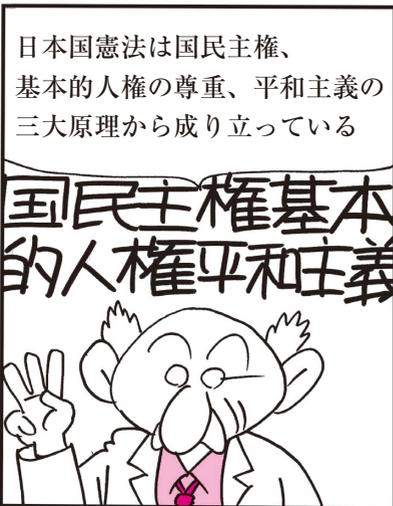
1章 憲法の基本原理など

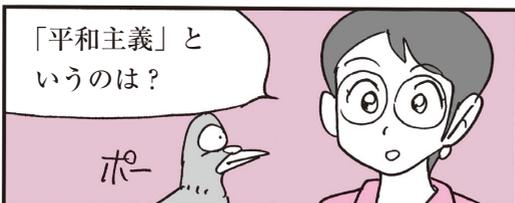


憲法の全体を貫く最も基本的な考え方は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つだよ！











押さえよう!

1 憲法とは

憲法とは、政治権力の基本的なあり方を定める法規範をいう。

ただし、現代においては、単に政治権力の基本的なあり方を定めるだけでなく、憲法の実質的な内容について立憲主義という考え方が重要な意味を持ってきている。すなわち、立憲主義とは、国民の権利と自由の確保のために、国家権力に制限を加えることを目的として、憲法に基づいて政治を行うという考え方をいう。人権を抑圧したり、侵害したりする最大の存在は、実は国家権力なので、人権を保障することは、国家権力に制限を加えるということを意味するからである。

2 憲法の基本原理

日本国憲法が目指す究極の価値は、「個人の尊厳」にある。そして、この「個人の尊厳」を確保するために、以下の3つの基本原理（三大原理）がある。

国民主権主義	国の政治の在り方を最終的に決める権力を国民が持つこと
基本的人権の尊重	基本的人権を尊重し、国家権力による侵害を許さないこと
平和主義	戦争を阻止し、争いのない状態を実現すること